



シンボルマーク

根南福祉だより 34号

(広報部)

平成30年 3月 27日発行



(小知和会長)

平成29年度を振り返って <会長 小知和 正>

本誌が届く頃には春真っ盛りの桜が満開となり、皆さまは暖かい日差しを満喫されておられると思います。今年度根南社協の事業は、川原崎前会長が進められた路線に沿い進めて参りました。この間、区長会始め各団体及び推進委員各位のご支援、ご協力をいただきましたことに対し、誌面を借りて厚くお礼申し上げますと共に、事業の概要を報告致します。

- ① 理事会(8/8開催)において静岡福祉大学 渡邊准教授をお招きし「自治会における小地域福祉活動」について講演を実施しました。『福祉の文化は自分たちが考えて、皆で話し合いこういう町にしたい、創りたいという思いのもと、自分たちで創っていく』という地域福祉の理念を改めて学べたと感じています。
- ② 推進委員研修会(9/26開催)も始めて開催し、市社協、民生委員、福祉委員、推進委員の方々63名で「地域で暮らし続けたい人」に対する支援について話し合い、『日々ふれあいながら生活する大切さ』が共有できました。
- ③ 福祉講演会(11/18開催)は『つながりの大切さを考えよう』のテーマで、東日本大震災で被災された田畑祐梨さんから感動的な講演をいただき、改めて人とのつながりの大切さを学びあいました。
- ④ 意識調査については、見守り対象の方々に地域とのつながりや困りごとに対する支援の要否や支援内容をお聞きしました。富士根南地区では3軒に1軒が高齢者のみの世帯です。介護保険制度の変化する中で、市は困っている人の日常支援を具体化する取組みを進めています。我々も、組織的な横のつながりを充実すると共に、『気付き・思いやり・感謝』を基本に、地域でいきいきと暮らしあえる町づくりを進めて参ります。
- ⑤ 三世代ふれあいまつりは大型台風接近のため、やむなく中止しましたが、開催に向けて協力いただいた方々、中止連絡で尽力いただいた各区役員の方々にお礼申し上げます。

『ネットワーク活動で住みよい地域に』

企画委員長 木ノ内 高嘉

現在、富士根南地区の16区すべてに、小地域福祉ネットワーク活動が展開されております。地区内にお住いの一人暮らしの高齢者、高齢者世帯などの見守り対象者に対し、定期的な見守り訪問や日常のさりげない見守りが各区の福祉部を中心に行われ、徐々に地域の福祉活動として定着しようとしています。

ただ、この活動が広く区民の間に十分に浸透しているかという疑問が残ります。ネットワークってなに、見守りって何をするの、といった声を耳にすることがあります。見守り活動の実践と併せ、区民の皆様はこの活動への理解をさらに深めていただき、進んで活動に参加していただけるような広報や研修を行い、ネットワーク活動のボトムアップが必要かと思えます。

私たちも高齢になると、この先どうなるのか悩みや不安を抱えるようになりますが、見守り体制がしっかりと確立され、地域で優しく見守られている実感が芽生えれば、安心してこの地域で暮らし続けたいという気持ちになります。早くこうした体制を充実させ住みよい地域にしていきたいと思います。

平成 29 年度意識調査結果 高齢者の福祉課題明確に

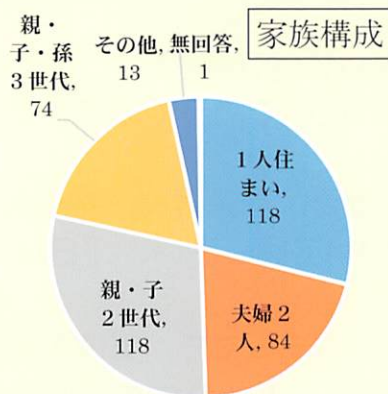
地域でできることは何か～意識調査結果から～ 意識調査部長 望月 好江

アンケートの実施にあたり、関係する皆様にご協力を頂き心より御礼申し上げます。

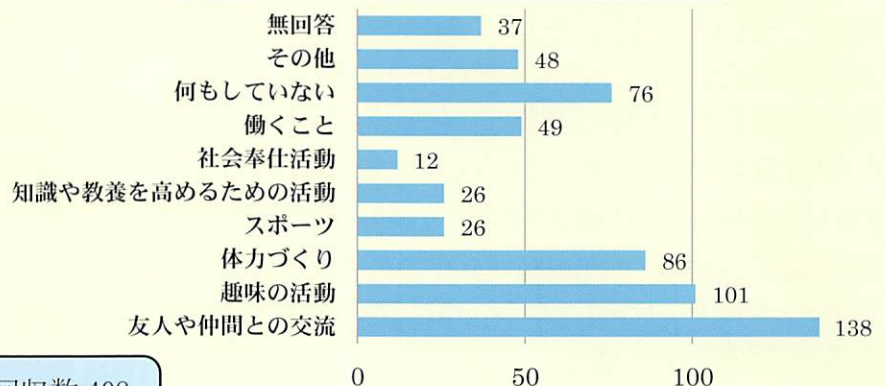
今年度の意識調査では一人暮らし、高齢世帯の方々にご協力を頂き、暮らしの様子や困りごとなど、貴重なご意見を伺うことができました。調査結果は以下のとおりです。

下記以外に、「ご近所との交流を望まれている方」が73%、「日中、一人で過ごし、誰とも話さない方」が21%となっています。

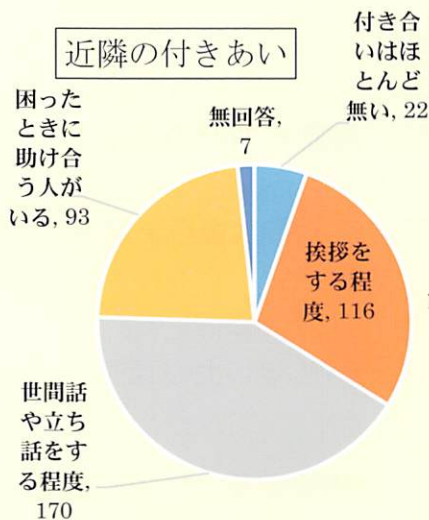
日常生活で受けたい支援が「病院、買い物の送迎、付き添い」48%と最も多く、地域でどのような手助けができるのか、検討していくことが今後の課題ではないかと思えます。



心身の健康を保つために行っていること 複数回答



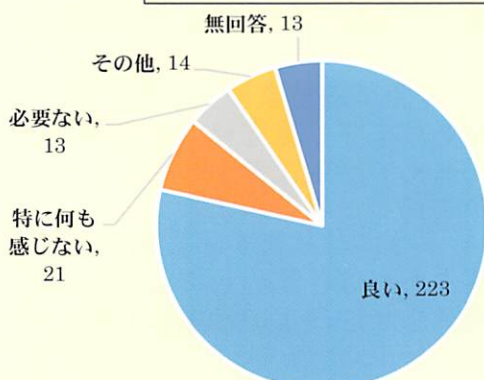
近隣の付き合い



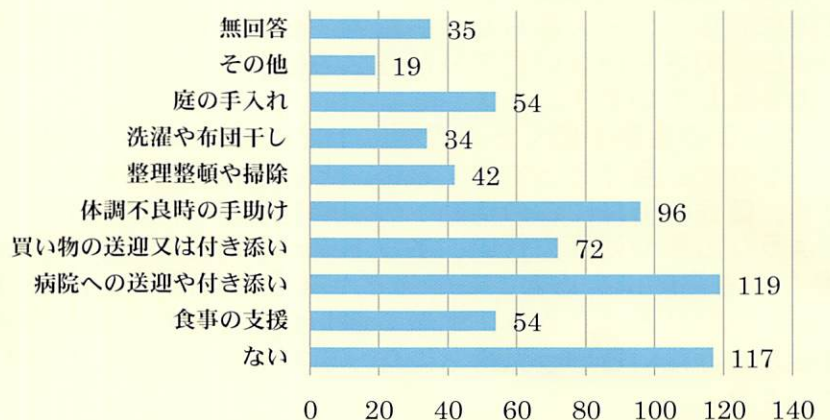
自身の介護が必要な時の対処希望



見守り訪問を受けた感想



日常生活で受けたい支援 (家族以外) 複数回答



地域を知ろう

富士根南地区史跡めぐり
杉田地区 3月10日(土)

地域の歴史とウォーキング、和やかに住民交流を深める

「地域を知ろう」を終えて

サポート部長 佐野恵子

昨年に続き、2回目の「地域を知ろう」を行いました。昨年のアンケートの中で最も多かった、杉田地区を選び、コースはガイドさんの意見を聞き選定しました。

当日62名の参加があり、地域別に3班に分かれて行動し、ガイドさんの丁寧な史跡の説明に改めてびっくりしたり、再認識したりの様子でした。

コースは杉田幼稚園を出発し、安養寺ー杉田浅間神社ー滝ノ上の不動尊ー丸塚山の神神社ー子安神社ー杉田幼稚園が帰着でした。

安養寺では、「狸和尚」の伝説、文化財の土偶の話などを聞き、滝ノ上の不動尊は岩屋の中に祀られ、杉田用水の開削に尽力した恩智養宗和尚の記念像がありました。子安神社は、安産の守り神として知られ、静岡県エンゼルパワースポットに選定され、県内外から安産祈願にお詣りする人が大勢いるといひます。

杉田地区では、この歴史的建造物や史跡を地域の人たちで守り続けていることに敬意を表したいと思ひます。

この行事も大勢の方々の協力で実施することができました。ほんとうにありがとうございました。



安養寺のシンボル狸の前にて

参加者の感想

グループの人たちと楽しくお話ができ、地域の史跡を知ることができ、ウォーキングもできる。良い行事と思いました。



杉田浅間神社

華やかな菊花彫刻の本殿覆屋

地域で今まで歩いたこともなく、知らなかった所を知ることができ、大変良かったです。又、次回も参加します。



子安神社で記念撮影

地元にも詳しく見なかったり、聞いたりできなかったもので、以前から詳しく知りたかったと思っています。



地名の由来の丸塚

以前から訪問したいと思っていたが、行く機会がなく、今日、やっと念願がかないました。ガイドさんに分かりやすく説明していただき、ありがとうございました。



子安神社拝殿内の見学

富士宮市生活支援体制整備事業説明会開かれる

平成27年4月に改正された介護保険制度の中で「生活支援整備事業」が位置づけされました。

これは地域における助け合い活動を住民目線に広げる活動です。

広報ふじのみやの2月号の12ページで紹介されています通り「誰もが生涯を住み慣れた地域で生活していくために」をテーマとして平成28年9月から「地域支え合いプロジェクト」(第1層協議体)が設置され2月14日に説明会が開かれました。

地域福祉を進めるには住民同士の支え合い助け合いが基本となりますので、地区社協としてもプロジェクトに関わってまいります。

平成30年4月1日にオープンします!!



相談は
無料です

富士宮市富士根地域包括支援センター



当センターは、富士根地区のみなさんが地域で安心した生活を続けられるように
保健師・主任ケアマネジャー・社会福祉士が連携しながらご相談に応じます。

介護に関する悩みことや
健康・福祉の心配ごとなど
何でもご相談ください。

高齢者虐待の早期発見や
消費者被害の防止につとめ
みなさんの権利を守ります。



社会福祉士
戸嶋さん

主任ケアマネ
小代田さん

保健師
稲葉さん

要支援と認定された方や生
活機能の低下が見られた方
へ、介護予防に向けた計画
書の作成や支援を行います。

地域のケアマネジャーや
医療機関などとのネットワ
ークづくりに力を入れます。

【連絡先】 080-1555-6503

お気軽にご相談ください!

寄り合い処通信



いつも笑顔がたえません

寄り合い処つくしの会

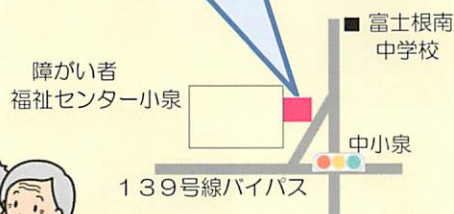
会場：大岩1区区民館

時間：第1・3木曜日 9:30~12:00

体力向上の運動や勉強会などを催し、お菓子を食べながらおしゃべりするのが何よりの
楽しみで、寄り合い処が待ち遠しいです。

勉強会で学んだ「ご近所カルタ」の内容を
早く実践できるよう心掛けています。

〈編集後記〉 桜の便りも嬉しいこの頃、根南福祉だより
34号をお届けします。富士根地区社協の活動、地域福祉の
課題など、少しでもわかりやすく読みやすい紙面の作成を
目指しています。発行に際し、ご理解ご協力いただいた皆
様方に深く御礼申し上げますとともに福祉だよりが、地域の
皆様方のお役に立てばうれしいです。 広報部一同



【所在地】
富士宮市小泉1854-3



みんなで元気に、楽しく体操!

杉田かたらい寄り合い処

会場：杉田区民センター

時間：第2月曜日 9:30~11:30

11年間自宅を会場に、おしゃべりや、
ゲーム、ものづくりを通して、生きがい
づくり、仲間づくりをしてきました。

昨年から区民センターに会場を移し、
参加者も増え充実してきています。